

ほけんだより

特別号

平成 30 年 4 月
保健室

麻疹(はしか)が流行しています！

沖縄県で麻疹(はしか)患者が71人確認されています。(平成30年4月21日時点)

感染している人が感染に気が付かずに移動することにより、今後沖縄県以外でも発症する可能性があります。

これからゴールデンウィークに入ります。沖縄県に行く人はもちろん、行かない人も自分の罹患歴や予防接種歴を確認して、感染予防に努めてください。(予防接種歴は母子手帳などでご確認ください。)

麻疹(はしか)



感染力：非常に強い感染力。麻疹の免疫を持たない集団に1人発症者がいると、14人の人に感染すると言われている。(インフルエンザは1~2人)

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染等がある。マスクや手洗いの効果は薄く、免疫のない人は90%以上の確率で感染する強烈な脅威的なウイルスである。

潜伏期間：約2週間

症状：①38℃くらいの発熱、鼻水、目やにが出る。

②5日くらい経つと熱が下がりはじめるが、再度39℃以上の高熱が出る。

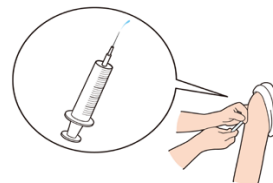
③2回目の発熱から身体に発疹が出始める。

口の中には、麻疹特有のコプリック斑という白い斑点が出る。

治療：特効薬はなく、対症療法により自然治癒をまつ。



予防ができます！



過去に麻疹にかかった場合は、免疫があるので感染者と接触してもかかりません。麻疹にかかっていない場合は、免疫をつけるためにワクチン接種、つまり予防接種しか方法はありません。注意する点としては、ワクチン接種が1回の場合は免疫が獲得できていないこともあるので、2回の接種が確実です。

海外修学旅行へ行く場合、麻疹の罹患歴がある、または予防接種を2回打っていることが確認できなければ修学旅行に行くことができません。